

笑顔をつなぐ Smile Rail Trip

2021.07
No.3



第3回は、秋田内陸線と言え
ばコレ!と思い浮かべる方も多
いのではないのでしょうか?田ん
ぼアートの魅力に触れました!

秋田の“夏の風物詩”と言えバ?

今年で10年目を迎える田んぼアート。稲も生長し、見頃を迎えました! 7月~9月上旬にはくっきりと絵が浮かび上がり、車窓から1番美しく見えるよう設計されています。毎年地元住民の方々が田植えを実施する光景も印象的。電車が通ると作業の手を止めて手を振るこの光景が大好きです! 稲の種類は茶・赤・橙・黄・緑・白の6色で、それぞれに特徴がある為、成長過程も考えながら作業を進めていくそうです。考えるだけでもとても緻密で難しい作業です。写真で見ても美しいですが、列車に乗りながら、里山の風景と併せて観ると感動も増しますのです是非実際に足を運んでみて下さい♪



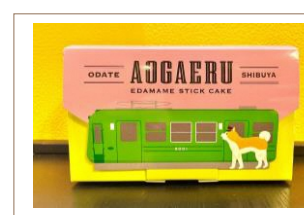
田んぼアートへの思い



みうらりえこ
---デザイナー 三浦梨恵子さん---

Three pear DESIGN

今までに作成されたデザイン



過去の田んぼアート原画



【上桧木内駅】 笑 EMI と紙風船上げ

冬の伝統行事“紙風船上げ”と秋田内陸線の“笑 EMI 列車”そして“秋田犬”が一面に収まる贅沢なアートが見られます! キュートな秋田犬は見れば見るほど笑顔に見えてきて可愛くてたまりません! ホームから列車とアートを1枚に収めたショットがオススメ♪

今年も田んぼアートのデザインを担当した三浦さん。“おおだてえだまめモナカ”のパッケージ(上記参照)を見た担当者から声がかかり、2017年から田んぼアートの原画を担当し今年で5年目になります。過去には季節の変化や秋田犬の成長などストーリー性のあるものも含め、様々なテーマに沿って原画を描いてきました。テーマに沿って、田んぼの形状や測量点、稲の色や特徴、車窓からの見え方などを考慮して原画を作ります。三浦さんは毎年田植えに参加しており、『地元住民の方々と一緒に田植えをすることで、感謝の気持ちと今後の制作意欲がより強くなります。』とお話してくれました。田んぼアートを楽しみにしている人がたくさん居て、見た人が笑顔になれる。素敵な繋がりを感じますね。見頃期間も長いので是非多くの人の目に触れて欲しいと思います♪今から次年度以降の田んぼアートが楽しみにになりますね!

今年の田んぼアートを紹介します♪



【角館～羽後太田】 雪ん子

雪ん子とは子供の姿の雪の精をまとめた呼称のこと。雪ん子を見られるのも雪国ならではのすし、更に夏に現れるのは田んぼアートならではのす。左の写真は6月中旬の様子。右の写真は7月に撮影したものです。写真でも色付きの変化がよく分かりますね。

【前田南～阿仁前田温泉】

花の百名山に選ばれる“森吉山の美しいお花”と日本の滝100選第2位に選ばれる“安の滝”のアート。写真に納まらない程の大迫力です！

【阿仁合～小湊】

“阿仁マタギと狩猟犬”こちらは縦に大きな絵で、正面からのベストショットがなかなか難しい！ですが、この迫力。1度は見るべし！



地域とのつながり

上桧木内駅前の田んぼを提供している若松さんと地元住民の松本さんご夫婦にお会いしました。田んぼアートについてお話を聞くと、『毎年の楽しみ♪ 毎日変化が楽しい。不思議と日に日に可愛く見えてくるんだ～😊』と素敵な笑顔でお話してくれました。田んぼを管理する若松さんは毎朝、この田んぼアートの田んぼだけは水の確認を1番にしていると笑いながらお話されていました。長い間この地で田んぼを見守ってきた皆さんの穏やかな優しい表情が忘れられません。おかげで田んぼアートの秋田犬もにっこり笑顔です♡ こうした地元の方々の想いや協力があってこそ美しい田んぼアートが見られるのですね。



↑ 若松さん、松本さんのご自宅前から見える田んぼアート



---若松さん (写真中央右)---

---松本さんご夫婦 (写真左2人)---

田んぼアートに関わる方々とお話を通して、今後もっと多くの場所で田んぼアートが見られたら良いなあなんて欲張った願望を抱いてしまいました。(笑) 9月までの間、更なる色の変化や稲刈りも楽しみですね♪



【縄文小ヶ田駅】

北秋田市のふるさと大使“ハローキティ”と世界遺産登録で話題沸騰中の伊勢堂岱遺跡のマスコット“いせどうくん”のコラボレーション☆まさに今行くべきスポット!!! ホームの高さからでも十分綺麗に見ることができますのでドライブがてら訪れるのも◎